

◎高品質なアプリケーションを世の中に提供する

VMT

VALTES MOBILE TECHNOLOGY

日本一 品質について 考え続ける 技術者集団

グループ会社に品質保証会社を持つVMT。
安心・安全なICT社会の実現に貢献するため
「高品質」を追求し続ける技術者たちがここにいる。



日本一、品質について 考え続ける技術者集団



開発×セキュリティ×品質保証！ 専門領域の知識を活かし「高品質」を追求。

テスト専門会社であるバルテスを親会社に持つVMTは、
どこよりも、「品質」に対する熱い想いを持っている。

テスト専門会社である バルテスとのシナジー効果に期待

もともと開発会社を経営していましたが、品質保証の可能性を感じてバルテス・モバイルテクノロジー（以下、VMT）の親会社にあたるテスト専門会社「バルテス」を立ち上げました。おかげ様で多くのお客様から引き合いをいただき、サービスを提供しておりますが、システム開発会社の方々と打ち合わせを重ねるなかで、何度も同じことを聞かれました。それは、「開発とテストをどうやって分けることができるのか」ということです。

開発会社は、クライアントから開発業務を一手に引き受け、その過程でテストも自分たちで実施しています。そのため、「第三者が検証する際に、どうやって業務範囲を切り出したらよいかわからない」、「品質は上がってもトータルコストがかさんでしまうのではないか」といった声をいただくことが多かったのです。

それならば品質検証と開発の役割分担を決め

て、ダブルコストにならないための仕組みを作ろうじゃないか！そう思って、VMTを設立しました。開発側、テスト側の業務範囲を明確に定義することによって、最大限効率をよくする、そして品質も上がる。このように、グループ会社とのシナジーを生み出しながら、成長してきました。

VMTはバルテスの強みやノウハウを生かし、スマートデバイスのビジネス利用に欠かせない品質とセキュリティといった「安心」「安全」を担保し、親会社バルテスとのテストを含めたトータルサービスを展開しています。また安全で高品質なアプリケーションを社会に提供しています。



バルテスグループは開発工程における全てのフェーズを支援



田中 真史(たなか・しんじ)

1962年3月、大阪府生まれ。高校卒業後、中小ソフトハウスに就職し、4年間、SE/PGとして従事。その後、フリーのエンジニアとして活動し、1990年にソフト開発会社を設立。約15年の経営の後、後身に事業譲渡。そこでの経験から、ソフトウェアテストの重要性を実感。安心・安全なICT社会の実現を目指してプロ集団を育成するために、2004年にバルテス株式会社を、2012年にはバルテス・モバイルテクノロジー株式会社を設立し、代表取締役社長に就任、現在に至る。

スマホアプリの開発と 保守サービスに強み

VMTは、「日本一、品質について考え続ける技術者集団」です。お客様は、システム開発会社に対して、何よりも「高品質」を求めています。VMTには、ほかの開発会社と違い、すぐそばに品質保証のプロがいる。だから、お客様も安心して任せていただけます。その中でも、社名の中に「モバイル」を付けたように、モバイル製品分野には特に強みを持っています。随時新技術を適用させたアプリ開発はもちろんですが、親会社のバルテス側で多くの端末を保有しているため、それを有効活用した「スマホアプリ専用の保守サービス」を展開していることも会社としての強みの一つです。

また、セキュリティ診断サービスの提供も特長の1つで、これもグループ内の成長をけん引する重要な業務となっています。セキュリティ診断を行うには、サーバーやシステムの中身についてある程度知識がないと診断できません。その

ため、近くに開発エンジニアがいることでよりハイレベルな診断が可能になると考えました。さらに、セキュリティ側からも「ここは脆弱性になってしまうから、こういったコーディングをしてみても？」とセキュアコーディングのアドバイスもできます。お互いの専門領域の知識で弱点をカバーしあうことによって、高品質な製品開発が叶います。

グループシナジーを さらに加速

今後は特に事業会社様との仕事を増やしていきたいと考えています。そして、ゆくゆくは、自社製品の開発も行っていきたい。また、自社サービスも出していきたいと思っています。バルテスが品質管理業務で使用するツールの開発はVMTが開発することで、もっと活活化できるはず。品質の高い製品を世の中に提供するために、グループシナジーをさらに加速させていきたいですね。

世の中の流れを逆算して、 果敢にチャレンジを

会社の立ち上げは経験が浅いメンバーで行ったため、軌道に乗るまでは苦戦が続いた時期もあります。しかし、今はメンバーも増えたことによって役割分担が確立され、順調に事業運営が出来るようになりました。新卒で入社したメンバーも順調に成長し、今では当社に欠かせない大事な戦力になっています。

まだまだ成長途中の会社であるからこそ、何事にも興味を持って挑戦したいという想いがある人にとっては、最適な環境だと思います。特に、開発やセキュリティの分野は日々新しい技術がでてきます。それを身に着けるためには勉強が必要になるし、失敗するリスクもある。ただ、それを恐れてはあなた自身の成長が止まってしまう。世の中の流れから逆算して、果敢にチャレンジを続けてくれる方であれば、会社としてもバックアップは惜しみません。是非、一緒にさらなる成長に向けて取り組んでいただきたいと思います。

開発エンジニア

Development of
Engineer

バルテス・モバイルテクノロジーには 開発業務に集中できる 環境がある

バルテスへの入社理由

元々は学生時代に学んでいた知能情報処理を活かすことのできるシステムエンジニアを目指していましたが、就活の際にテストの必要性や面白さを知り、VMTの親会社であるバルテスへの入社を決めました。約2年間のテスト経験を積んだ後、VMTの立ち上げメンバーに選ばれました。当時は、かなり多くのアプリを日々検証していたので、テスト観点や進め方、テスト範囲の分担など、バルテスで得た知識が今の開発業務で活かされています。

失敗も未来の成功に つながっていく

自分が立ち上げのメンバーに抜擢されたと社長から告げられた時は、かなり驚きました。開発者としてお声がけいただいたのですが、その実務経験もなく、やっていけるのかという不安が大きかったのです。しかし悩んだ末に、会社の立ち上げに関われるのは、かなりの幸運だということに気づき、新しい一歩を踏み出しました。仕事を得ることから受託開発を行うためのベースを作ることまで様々なことに苦戦を強いられました。初めて、受託開発をした案件では、設計書のフォーマットがないものも多く、仕様の決定や設計が思い通りに進まない毎日。それでも何とか会社全体でアプリを完成させてリリースまで進めることができました。その後も数々の経験を経て、やっと今の設計書フォーマットやベースの進め方が出来上がり、今は顧客の要望に応えながらも自社の利益も確保し、開発を完了させることができるようになりました。軌道に乗るまで失敗も多々ありましたが、それらを未来の成功に繋げる



荻野 和俊 (おぎの・かずとし)

2011年4月に、新卒でバルテスに入社。Webやスマホアプリのテスト実施を担当。その後、2013年3月、バルテス・モバイルテクノロジーの立ち上げメンバーに抜擢される。現在は、開発部のマネージャーとして活躍中。

ことが会社への恩返しだと考えて仕事と向き合っています。納品後にアプリを見た顧客から「品質について期待していたが、想像以上だった」と言っていただけたときは、これまでの努力が報われた気がして本当に嬉しかったですね。

同じ志を持った仲間と一緒に VMTの力を世界へ

VMTは持ち帰り様々な業界のシステムを開発していることに加え、トラブルが起きても前向きに対応できる社員が多いので、挑戦に対して寛容な環境が整っていると思います。また、グループ会社にテスト専門会社があるため、開発業務により集中して熱を注ぎたい方には向いているのではないのでしょうか。

現在は、この環境を最大限に活かしながら、効率よく高品質なものをいかにして作るのかということを追求しています。アプリ設計は、市場価値に大きな影響を与えるものです。下流工程のコーディングに関しても、クリエイティブで自由度の高い仕事のため、開発者によって動作に細かな違いが生じます。それを高品質なものにしていくには、「市場価値に貢献する」という一人ひとりの強い意志が必要です。同じ志を持った仲間と一緒に、最終的には、トヨタ自動車が発表した、効率的な生産管理を叶える「かんぱん方式」やバルテスが持つ、ソフトウェアテストの体系的な手法をまとめた「バルテスメソッド」のように、社会に役立つ仕組みや考え方をVMTから世界に発信していきたいです。

セキュリティエンジニア

Security Engineer

思考巡回がセキュリティ診断のカギ！ 高まるリスクから 世の中を守るエンジニア

思考を巡らせて、脆弱性を発見

前職でのIoT機器のセキュリティ診断経験を十分に活かせると考え、入社を決めました。VMTで主に実施しているのは、Webアプリケーションの脆弱性診断です。これはお客様の運営しているWebサイトやシステムに対して、ブラックボックステスト(※)として私たち診断員が疑似的に攻撃して脆弱性がないかを確認する業務です。

診断はツールを利用して行うことも可能ですが、誤検知やそれだけでは確認できない脆弱性もあるので、手動診断でも細かい内容を確認していきます。そのため、ただ単に決まったことを繰り返すだけでなく、「攻撃の裏ではどのような処理がされているのか」「次にこういう攻撃をしたらどうなるだろう」と、絶えず思考を巡らせなくてはならない。これが、セキュリティ診断の面白いところですね。

そうした中で普段はあまり見かけることがない脆弱性を見つけたり、手動による個人的なスキルで脆弱性を検出できたりした時は嬉しいです。

※ブラックボックステストとは、システムの内部構造は考慮せず入力値と出力結果で確認するテスト技法です。



社会にとって 甚大な被害を防げた喜び

今まで携わった業務では、ある大手メーカー様のIoT機器の診断が印象に残っています。診断した結果、脆弱性を検出したため、発売されて数年たった今でも、未だに正式に実装されていない機能があります。そこで自分が脆弱性を検出しなければ、その機能がリリースされていて問題が起き、お客様の評価や業績だけでなく、社会にも甚大な被害が出ていたかもしれない。そう考えると、この仕事をやっている甲斐があったなと思いました。さらに、診断したお客様からレポートで案件のご依頼をいただけると、自分が行った業務が評価されたんだと実感して嬉しくなりますね。



田村 和也(たむら・かずや)

大学卒業後、LSIの開発会社にて4年ほど開発業務に従事。その後、転職した企業で、IoT機器のセキュリティ診断をメインで担当し、2017年にバルテス・モバイルテクノロジーに参画。現在は、Webのセキュリティ診断を中心にを行っている。

さらなるスキルアップを目指し、 教育体制を充実

現在、ICT社会と言われるように、昔では想像できないものもインターネットにつながる便利な世界になってきました。しかし、セキュリティリスクも高まっているのも事実です。安心して利用できるようにするために私たちのようなセキュリティエンジニアが存在しています。セキュリティチームは、まだ10人程度の若いチームです。そのため、新しい方が入社された場合には、できるだけ早く現場で能力を発揮していただけるように、教育体制を充実させていく予定です。

現在メインで行なっているWebアプリケーション診断のスキルアップをしながら、新しい分野にもチャレンジし、最終的には安心・安全なICT社会の実現に貢献していきたいと思っています。





成長ステージにあるからこそ、

自分のスキルアップが事業や 組織の未来に繋がる会社です。

『日本一、品質について考え続ける技術者集団』それがバルテス・モバイルテクノロジーです。最先端のアプリケーションを最高の品質で提供したい、そんな想いをもち立ち上がった当社。その想いに共感し集まってきた仲間で、開発だけでなく専門性の高いセキュリティ事業の拡大などに取り組んできました。新しいアイデアやまだやったことのない取り組みの提案など、失敗を恐れず挑戦し続ける姿勢を持ったメンバーが揃っています。まだまだ成長ステージだからこそ、自分のスキルアップが事業や組織の未来に繋がる。そんな面白さのあるバルテス・モバイルテクノロジーと一緒に次のキャリアを築きませんか。